

# 大画面電波クロック

## MODEL: KD-10

### 取扱説明書(保証書付)

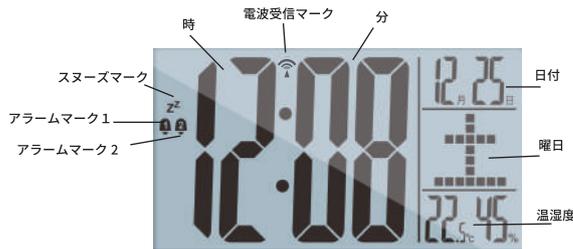
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり正しくお使いください。  
また、保証書とあわせて、いつでも再読できるように大切に保管してください。  
※この時計は日本国内用です。海外の時刻電波には対応していません。

### 内容物を確認する

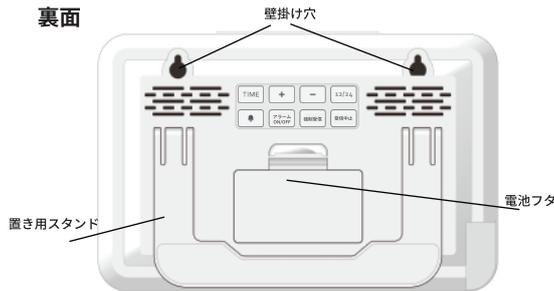
- 商品本体 (1台)
- 単3乾電池 x 2 個(テスト電池)
- 取扱説明書/保証書(本紙)

### 各部の名称

#### 画面表示



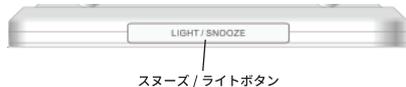
#### 裏面



#### 裏面ボタン



#### 天面



### 使用方法

裏面の電池ふたを下に引くようにして開けてください。  
単3乾電池 x 2 個を入れてください。電波受信マーク が点滅します。

電波を受信しやすい窓際などの場所に設置してください。  
通常、受信には3~5分程度の時間を要しますが、設置場所の環境等によってはそれ以上の時間を要する場合があります。受信中は電波受信マークが点滅します。受信作動中は本製品を移動させないでください。

- ※ 電波を正常に受信すると電波受信マークが静止された状態で表示されます。
- ※ 電波を正常に受信できなかった場合は(時刻が調整されず電波受信マークが消えてしまった場合) 強制受信ボタンを押して再び電波受信マークを点滅させ、場所を変えて電波受信を試みる、または手動で設定してください。
- ※ 受信による時刻調整が正確に行われた後は、1日4回の自動受信によって再度時刻調整を行います。

### 手動での設定方法

電波受信がまだ続いている場合は、電波受信ボタンを押してください。

1. タイムセットボタンを長押しすると年(19)が点滅するので+ボタンまたは-ボタンを押して設定してください。長押しすると早く数字を変えることができます。
2. タイムセットボタンを押すと年が点滅するので+ボタンまたは-ボタンを押して設定してください。
3. タイムセットボタンを押すと月が点滅するので+ボタンまたは-ボタンを押して設定してください。
4. タイムセットボタンを押すと日が点滅するので+ボタンまたは-ボタンを押して設定してください。
5. タイムセットボタンを押すと時が点滅するので+ボタンまたは-ボタンを押して設定してください。
6. タイムセットボタンを押すと分が点滅するので+ボタンまたは-ボタンを押して設定してください。  
もう一度タイムセットボタンを押して設定完了です。

※ 曜日は自動で設定されます。

※ 設定時に何もボタンを押さないと約20秒ほどで点滅が終了してしまいます。

### アラーム設定方法

アラームは全部で2つ設定できます。

#### アラーム1の設定方法

1. アラームボタンを長押しすると液晶右下にAL1(アラーム1)が表示されます。アラーム時刻の時が点滅しますので+ボタンまたは-ボタンを押して設定してください。  
長押しすると早く数字を変えることができます。

2. アラームボタンを押すと分が点滅するので+ボタンまたは-ボタンを押して設定してください。もう一度アラームボタンを押して設定完了です。

アラーム2の時刻を設定しない場合はアラームボタンを続けて2回押ししてください。通常時刻表示画面に戻ります。

#### アラーム2の設定方法

アラーム1の時刻設定後に液晶右下にAL2(アラーム2)が表示されます。アラーム時刻の時が点滅しますのでアラーム1の時刻設定と同じように時と分を設定してください。  
分設定後アラームボタンを押すと通常時刻表示に戻ります。

※ 画面上にアラームマークが表示されていないとアラームは鳴りません。アラームON/OFFボタンを押してアラームマークを表示させてください。

※ 設定時に何もボタンを押さないと約20秒ほどで点滅が終了してしまいます。

### アラームの止め方

- ※ アラームは何も押さないと2分後に鳴り止みます。この場合再び翌日の設定時刻に鳴ります。
- ※ アラームが鳴っている時にスヌーズボタン以外のいずれかのボタンを押すとアラームが止まり、翌日の同じ時刻に再びアラームが鳴ります。
- ※ アラームを完全にオフにするにはアラームON/OFFボタンを押してアラームマークを点滅させてください。

### スヌーズについて

アラームが鳴っている時にスヌーズ/ライトボタンを押すとスヌーズ機能が作動します。この時スヌーズマーク が点滅し、アラームが再び5分後に鳴ります。スヌーズをOFFするにはスヌーズボタン以外のボタンを押してください。この場合再び翌日の設定時刻にアラームが鳴ります。

### その他

- ※ スヌーズ/ライトボタンを押すと10秒間バックライトが点灯します。
- ※ 12/24 時間制表示切替ボタンを押すと12時間制か24時間制表示かを設定できます。
- ※ 通常時刻表示時に+ボタンを押すとアラーム1の、-ボタンを押すとアラーム2の設定時刻が確認できます。

## 温湿度について

- この商品は室内のみでご使用ください。

ご注意

※本製品は工業用計測器として使用する目的で製造されたものではありません。ご使用にあたっては、製品の特性を良くご理解の上お使いください。  
※精度誤差などにより生じる二次災害や損害等については、弊社では一切その責任を負えませんのでご了承ください。

## 電波時計について

### ●電波修正機能とは

正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、現在時刻を表示する時計です。

### ●標準電波とは

福島県の大鷹鳥谷山(おおたかどややま)標準電波送信所(周波数40KHz)と、福岡・佐賀県境の羽金山(はかねやま)標準電波送信所(同60KHz)の2ヶ所から常時送信されています。標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という超高精度の『セシウム原子時計』によるものです。

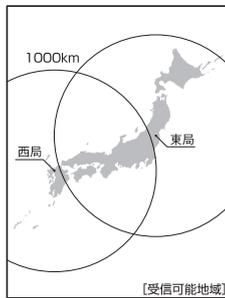
### ●電波受信の条件

受信可能地域の目安は、条件により異なりますが各送信所よりおおむね1000kmです。受信範囲内であっても、地形・建物の影響などによる不受信や天候・設置場所・時計の向き・時間帯により受信できない場合があります。

通常は東日本では東局(周波数40KHz)西日本では西局(同60KHz)の電波がより受信しやすいと考えられています。

※標準電波は、送信所の設備点検や落雷などの影響により停波される場合があります。

※電波を受信できない場合は、通常のクォーツ時計として月差±40秒の精度で計時します。



### ●受信に適している場所、不向きな場所・時間帯について

本製品は、AMラジオと同様に内蔵のレシーバーにより電波を受信するものです。

次のような場所・時間では正確に受信できないことがあります。

- ①鉄筋・鉄骨の建物の中、ビルの谷間、地下。
- ②電波を受信するのに妨げとなるノイズ(妨害波)の影響を受ける場所。
  - ・交通量の多い所、工事現場、電車の架線、高圧線、電波塔、空港の近く。
  - ・テレビ、インバータエアコン、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やOA機器近く。
- ③電波が反射されやすく、受信しづらい場所。
  - ・スチール机などの金属製家具の上や近く、金属を使った壁面。
- ④乗り物の中。(自動車、バス、電車など)
- ⑤その他ラジオが受信しにくい場所など。
- ⑥昼間は生活上のノイズが多く発生するため受信がしづらくなっています。夜間に受信することをおすすめします。

## 故障かな?と思ったら

### ●表示が出ない

- 電池の入れ方が逆になっていませんか?  
➡電池の⊕⊖を正しく入れなおしてください。
- 電池が消耗していませんか?  
➡新しい電池に取り替えてください。

### ●アラーム音が鳴らない

- アラームがOFFに設定されていませんか?  
➡アラームマークが表示されていることを確認してください。

### ●時刻またはカレンダーが合っていない

- 受信に成功していない可能性があります。  
➡窓際などに場所を変えて再度受信しなおしてください。

## ⚠ 注意

- 液晶画面を強く押ししたり、強い衝撃を与えないでください。液晶画面のガラスが壊れてけがの原因となる場合があります。
- 液晶画面が壊れた場合、表示画面内部の液体には触れないでください。万一以下の状態になったときはそれぞれの応急処置を行ってください。
  - (1) 口に入った場合はすぐにうがいをし、医師に相談してください。
  - (2) 目に入ったり皮膚に付着した場合は、きれいな水で最低15分以上洗浄したあと、医師の治療を受けてください。製品を不安定な場所や振動のある場所に設置しないでください。
- 極端な低温や高温な場所および湿度やほこりの多い場所に設置しないでください。
- 製品を分解・改造などしないでください。
- 電池は⊕⊖の方向を正しく入れてください。
- 使い切った電池は本体から取り出してください。
- 長期間使用しない場合は、本体から電池を取り出して保管してください。
- 落下や衝突など強いショックを与えないでください。
- お手入れの際は、乾いた柔らかい布をご使用ください。
- 付属の電池は充電式ではありません。絶対に充電しないでください。
- 電池の着脱を長く伸ばした爪で行うと、思わぬケガをおこす恐れがありますので、長く伸ばした爪での着脱はおやめください。

## ⚠ 警告

- 製品梱包用の袋はお子様の手の届かないところに保管または廃棄してください。
- 電池の液が目に入ったときは失明などのおそれがあるので、すぐに多量のきれいな水で洗い流し、医師の治療を受けてください。
- 電池を分解・過熱したり、ショートや火中への投入などしないでください。